

西小学校の適正化対策の手法について

	建て替え（現在地＋敷地増し）		建て替え（移転）	
工事期間中の児童への影響	×	・騒音等による授業への影響有り ・学校活動と工事の動線区分けが難しい ・工事期間が長期化	○	影響なし
施設に関すること	○	・新たな教育環境（バリアフリー等）への対応可能	○	・新たな教育環境（バリアフリー等）への対応可能 ・移転場所により中学校との一体利用が可能
敷地に関すること	△	・文部科学省基準を満たす敷地面積確保が可能 ・近接地の高低差対応が必要 ・整形地にはならない。	○	・移転場所により文部科学省基準を満たす敷地面積確保が可能 ・整形された敷地
費用に関すること	△	・相対的に費用がかかる（建設費用＋増築用地費用） ・工事期間が長期になる場合、建設費用が増大する可能性あり。 ・北側、北東側敷地を増して工事期間を短縮する場合、約1.9haの土地が必要となる。（敷地面積は3.7haとなり過大となる。）	△	相対的に費用がかかる（建設費用＋用地費用）
現状課題の解消（周辺道路・駐車場）	△	一部解消不可（敷地増しにより）	○	解消可能
ハザードマップの浸水区域	△	一部含まれる。	△	含まれる。
通学路に関すること	－	変更なし	－	変更あり
評価	△		○	